

# Breaking One's Journey



## みんなが気持ちよく使える RVパークという選択



キャンピングカーがある旅は自由そのものだ。目的地も時間も、状況に応じて柔軟に変更できる。天候に合わせて行き先を変えたり、ふと訪れた場所が気に入り、そのまま滞在してしまったり、新しい旅の形を提案してくれる。そんなスタイルに魅了され、多くの人がクルマでの旅を楽しむようになってきた。その自由さが、多くのユーザーを惹きつけているのだろう。

一方で、自由な旅が社会に広く受け入れられるようになるにつれ、地域社会との調和も問われるようになってきた。クルマ旅ユーザーの増加により、自由な旅を取り巻く環境も変化している。その象徴ともいえるのが、「道の駅」の利用をめぐる課題だ。

道の駅は、地域振興や観光情報の発信拠点であり、ドライバーの休憩場所として整備された公共施設である。ドライブや仕事で移動する人々を含め、多くの人を支えてきた存在だ。しかし、本来は宿泊を前提とした施設ではないため、長時間滞在や宿泊に対応した設備は整っていない。想定を超える利用者の増加により、騒音やゴミ処理といった問題が顕在化し、近隣住民との関係が課題となるケースも見られるようになってきた。

こうした状況を受け、日本RV協会ではRVパークの整備を進めている。RVパークは、クルマ旅の文化を守り育てていくために、キャンピングカーや車中泊ユーザーが安心して滞在できることを前提に設計された

施設だ。車中泊場としての機能が備えられ、利用者と地域の双方が理解し合える環境が整えられている。

RVパークを利用するメリットは、充実した設備だけではない。「ここに宿泊してもよい」という明確な安心感も、その大きな魅力の一つだ。周囲に過度な気遣いをすることなく静かな夜を過ごし、心身ともにリラックスした状態で次の目的地へ向かう。そうした体験の積み重ねが、クルマ旅の満足度を高めていく。

RVパークの中には、温泉施設や飲食店を併設している場所もあり、地域の観光資源と連携した拠点も少なくない。その土地の文化に触れる機会が生まれるとともに、地元の店を利用することで、道の駅では出会えなかった人々との交流が生まれることもある。こうした関係性が、地域の人々がクルマ旅のユーザーを歓迎し、良好な関係を築ききっかけとなっていこう。

これまで道の駅を旅の拠点としてきた人にとって、RVパークはまだ身近な存在ではないかもしれない。しかし、旅のスタイルや環境が変化していくなかで、利用者一人ひとりの選択が、クルマ旅全体の印象を形づくっているのも事実だ。安心して利用できる場所を選ぶことは、自分自身の旅を快適にするだけでなく、次に旅をする人たちのための環境を守る行動にもつながっている。

# 日本RV協会事務局に キャンピングカーが やってきた!



日本RV協会は、キャンピングカーやRV業界の発展、そして「くるま旅」文化を広める活動を続けている団体だ。協会では、事務局員が気軽に使えるキャンピングカーを用意し、福利厚生やイベントなど、さまざまな場面で活用している。

今回はそのキャンピングカーがどのように役立っているのかを紹介する。

あなたの会社でも福利厚生としてのキャンピングカーの活用を検討してみたいはいかがでしょうか?

Uses\_1

キャンピングカーの使い方①

# スタッフの福利厚生

Employee Benefits

日本RV協会には、事務局員なら誰でも気軽に使える「キャンピングカー」を所有している。イベントサポートなど、活用シーンは多岐にわたる。特に福利厚生がもたらすメリットは大きい。その最大の魅力は、心身のリフレッシュだ。キャンピングカーで日常を離れることで、心からリラックスし、リフレッシュできる。この体験が、業務への新たな活力や生産性向上に直結しているの言うまでもない。家族との時間や仲間との思い出作りにもつながり、結果として職員の満足度を大きく高めている。



休日を使って事務局員が向かったのは、神奈川県平塚市にある海辺の公園「ひらつかシーテラス」。海辺の開放的な公園で、芝生広場やスポーツフィールド、ショップが入ったマルシェがそろそろ。スポーツフィールドはさまざまなスポーツができる広大なスペースで、海風を感じながらアクティビティを楽しめる最高の環境だ。犬の散歩で訪れる人も多い。

使ってみました体験談①

## 冬、マリンスポーツに行ってきました



運転席は視界が高く、意外にも長距離運転がとても楽で快適。マリンスポーツ用のギアもストレスなく積むことができ、収納スペースに関してもまったく問題ありませんでした。景色の良い場所に車を止め、絶景を眺めながらコーヒーを味わう時間は格別。コーヒーの香りとともに感じる幸福感は、キャンピングカーならではの特別な体験だと感じました。また、FFヒーターを使用しましたが、エンジン停止中でも車内はポカポカ。寒い季節でも快適に過ごせる点は大きな魅力です。

使ってみました体験談②

## 友達と音楽フェスへ行ってきました



長期休暇の際、友達との旅行に利用しました。キャンピングカーの運転には不安がありましたが、友達のなかで運転を交代しながら移動したため問題ありませんでした。移動中のストレスも少なく、目的地へ到着できたのは、これまでの旅行とは違った印象でした。友達とキャンピングカーを利用することで、普段とは違う距離感を感じられたのも大きな発見です。これがキャンピングカーを通して生まれる友達の絆なのかもしれません。



マルシェ棟には、地場産品を活用した軽食やデザート、ドリンクなどを提供する個性豊かな店舗が並び、雑貨なども販売されている。多くの店舗ではテイクアウトが可能のため、キャンピングカーで訪れた際には、購入した商品をクルマの中へ持ち帰り、海を眺めながらのんびり味わうのがおすすめです。新鮮な湘南しらすを使った海鮮丼や、たこ焼きの専門店などがあり、多様なメニューから選べる。



撮影地情報

## 海辺の公園 ひらつかシーテラス

うみべのこうえん ひらつかしーてらす

住所 / 〒254-0814 神奈川県平塚市龍城ヶ丘19-1

電話 / 0463-26-4851 営業時間 / 24時間 (管理棟 : 8:30~17:15)

BBQレストラン棟 11:00~22:00 (土・日・祝~21:45)

マルシェ棟 / 店舗により異なります。詳しくはホームページをご確認ください。

<https://hiratsuka-seaterrace.com/>



Uses\_2

キャンピングカーの使い方②

# ワーケーション

Workation

働き方にはもっと多くの選択肢がある。例えば、場所にとらわれず、自分の好きな環境で働く「ワーケーション」というスタイルだ。窓の外に広がる景色が変わるだけで気分がリフレッシュされ、新しいアイデアが生まれることもある。福利厚生でキャンピングカーを導入すれば、移動可能なプライベートオフィスとして活用可能。ホテルやコワーキングスペースを探す手間もなく、気の向くままに場所を移動しながら、安定した環境で仕事ができるのはメリットが大きい。美しい海辺など、最高のロケーションが職場となり、キャンピングカーの魅力が一段と高まる。



Uses\_3

キャンピングカーの使い方③

# イベント出展

Event Participation



日本RV協会では、さまざまなイベントに参加する機会が多い。キャンピングカーを展示することで、多くの人に実際に触れてもらうことを目的としている。福利厚生の車両として導入されているが、業務の中でもキャンピングカーは活躍しているのだ。特に最近では防災イベントへの出展が増えており、災害時に「動く避難所」や「災害対策本部」として機能する可能性を知ってもらう取り組みが行われている。これらの活動を通じ、日本RV協会はキャンピングカーが持つ多様な可能性、特に「防災」という側面からもその社会的価値を広く伝えている。

写真のイベントは... 防災フェアなかの2025

防災の日の関連イベントとして中野区が開催した体験型イベント。中野区、中野・野方消防署、中野・野方警察署など多数の関係機関が参加し、家族連れをはじめとする区民が楽しみながら防災意識を高められる多様なコンテンツが提供された。その一つとして、日本RV協会がキャンピングカーを展示し、キャンピングカーの魅力や防災での可能性を伝える活動を行った。

開催日 / 2025年8月31日(日)

会場 / 中野区役所1階スペース、中野四季の森公園イベントエリア